

平成30年度 さいたま市立東岩槻小学校 学校関係者評価書

さいたま市立東岩槻小学校

学校関係者評価委員長 小堀 久



1 学校関係者評価の実施体制

- (1) 構成人数 8名 (学校評議員を兼ねる)
- (2) 実施回数 2回

2 学校関係者評価 (学校関係者評価委員の意見等)

○基礎学力向上の視点について

- ・学習において、漢字の書き取りを確実にすることや「百マス計算」などの「読み・書き・計算」の具体的な取組を反復して行うとともに、タブレットPCが整備されていることを活用し、児童の基礎学力を向上させていく必要がある。

○豊かななかかわりの視点について

- ・教員が行っている『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善」とも関連して、教員の研修を充実させるとともに、学習において2人組やグループでの活動を生かして児童同士で学び合う機会を大切にしていくとよい。

○安全・安心な学校づくりの視点について

- ・「心と生活のアンケート」や「学期末アンケート」などの各種アンケートを活用して、児童や保護者が発する情報をつかみ、結果に表れる肯定的な面だけでなく様々な角度から対応していくことが大切である。

○家庭との連携の視点について

- ・学習面だけでなく、生活面において虫歯の治療率を向上させるためには家庭の啓発を引き続き行う必要があり、児童の力だけで解決に向かうことは難しいので大人の力を借りられるよう働き掛けを続けていくとよい。

○教職員の心身の健康の視点について

- ・「児童一人ひとりを大切にする教師」を目指していることとも関連して、アンケートを簡素化するなどの業務を整理することを通して、児童一人ひとりと向き合う時間を増やし、児童一人ひとりを大切にした教育を進めることを大切にしたい。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- ・指導方法の工夫改善について、生き生きと学び合う算数科の授業を通して基礎学力向上の研究を強化し、特に算数科において読み取り、考え、表現する力を身に付けさせ、基礎・基本の確実な定着を図る。(主に基礎学力向上、豊かななかかわりの視点)
- ・日常の児童の観察やコミュニケーション、各種アンケートの活用、教職員の共通理解を基にした指導などを通して、生徒指導や個に応じた指導体制の充実を図る。(主に安全・安心な学校づくりの視点)
- ・学校運営協議会制度を活用し、「コミュニティ・スクール」として、教職員、保護者、地域住民など地域総掛かりで子どもたちをはぐくんでいくきっかけをつくる。(主に家庭との連携の視点)
- ・教員が心身ともに元気で、児童一人ひとりと向き合い、児童一人ひとりを大切にした教育を進めるために、行事等の精選を行うと同時に、よりよい働き方を意識していくようにする。(主に教職員の心身の健康の視点)

さいたま市立東岩槻小学校長 小野 圭司

